



19970328  
[9609]  
総39号  
発行  
桂坂  
自治連合会  
広報編集部

## 保育所・児童館は平成一〇年度 平成九年度中 桂坂に交番

### 保育所・児童館の建設

『桂坂』（3号）でお知らせしましたように、平成一〇年には、この桂坂にも待望の保育所と児童館が建つことになりました。

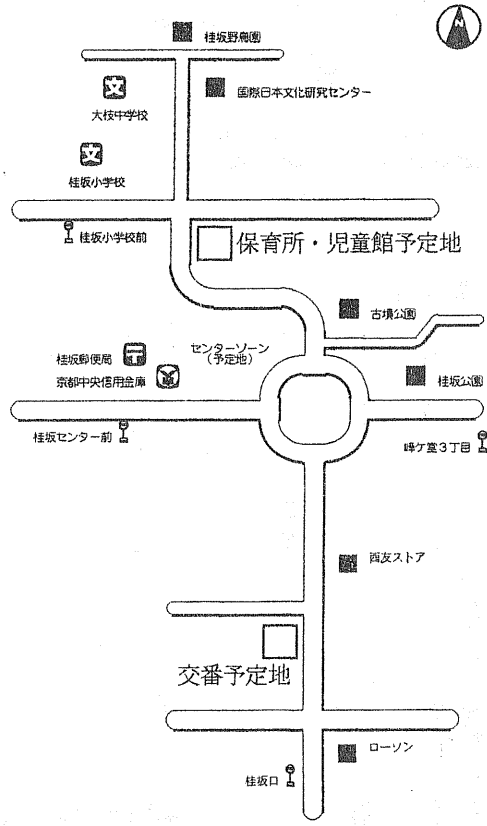
桂坂小学校正門横にある交差点の、東南の角辺りが建設予定地です。児童館を利用される子どもさんは、バスに乗って、わざわざ大枝の児童館まで行くこともなく、学校がひけたらすぐそこで、夕方まで時を過ごすことができます。

この九年度には、設計費として約二〇〇万円が計

上され、平成一〇年に着工し、その年度中に完成の予定だそうです。

保育所も児童館もこの桂坂にふさわしいものが出来ること願っています。

この九年度中に、桂坂の



交番に警察官が常駐

地に交番が出来ます。場所は、「桂坂口」からロータリーへと向かう坂道を五〇米ほど入ったところの、左側です。

桂坂・大枝両学区の要衝に警察官が常駐し、その上にパトカーが睨みをきかせるとなれば、両学区の街の安寧静穏も十分に保たれるでしょうし、また、桂坂の玄関にふさわしい交番が街路樹のはざまに姿を現し、お巡りさんと私たちが常時、しかも気安く、声をかけ合うことができればと思います。

### 桂坂地域女性会 入会のお誘い

桂坂地域女性会 会長 山田 まゆみ

桂坂地域女性会が発足して一年、会員数も二〇〇名となり、活動の場も桂坂から西京区内へ、そして時には京都市の行事まで広げて来ております。

今年度は、講習会を三回（雛人形づくりが大好評でした）、見学会、ティータイム、見学会、ティータイム

イムコンサート、作品展と手づくりバザー、介護講座など桂坂で行った行事のほかに、「名月観賞の夕べ」でのフォークダンス、「京都まつり」の踊り、「ゆめフェスティバル」・「洛西ふれあいまつり」における「洛西フェスティバル」・「洛西ふれあいまつり」における「洛西フェスティバル」・「洛西フェスティバル」

またサークルも、茶道・おぼんぎい教室・歩こう会などありますが、来年度はもっと増やして行きたいと考えています。

女性同士が輪になって、ともに楽しみ、ともに学び実践して行く場、これが地域女性会です。

来年度も会員の皆さまに喜んでいただけるような、

### 桂坂にお住いの皆様、

こんにちは！

人情、温泉、納豆、梅干し、さしみ大好き！そして、阪神淡路大震災で被災した私たちが家族を暖かく迎えて下さった桂坂の町がとても好きな、日本在住十四年のイギリス人です。妻のヨアンナはスイス人と日本人のハーフで、私たちには七歳をかしらに、五歳、三歳、七ヶ月の四人の子供がいます。

友人の小出さんのご好意で、この美しい桂坂に引っ越して来たのは、神戸の家を失って数週間後の二月。またたく間に二年の月日がたちました。ふり返るとそれは、近隣の方々と親切に包まれた日々でした。

交通機関、買物、自治会、児童館、ゴミ出し。と、小さいことから大きいことまで色々な方々が教えて下さいました。外国人だという差別なく、周りのお子さんが遊ぶので下さり、子供たちも神戸の友達と離れ離れになつた寂しさが、自然

### 桂坂 自主防災会長の 菊池会長に 市長表彰



三月二日の消防記念日、南区の市民防災センターにおいて第四十九回の記念式典が挙行されました。

市長表彰のうち、「自主防災活動推進功労者」として、毎年秋に実施される総合防災訓練などで実績のある、この桂坂自主防災会の菊池潤治会長が個人表彰を受けられました。

一人と百二十五団体、二十九事業所が受賞し、その功績を称えられました。

その席で、防火・防災活動に積極的に貢献した功労者が京都府より表彰されました。

今年、市長表彰として十八人と四十五団体、十七事業所がまた、消防局長表彰として二十

わがまち **桂坂**

I LOVE 桂坂

ニコラス・スィラヴァン  
つばき自治会

過去二回のクリスマスには、友人たちとチャリティーコンサートを企画させていただきました。

第一回の大阪のホームレスの方々、そして、二回目のガーナ（アフリカ）支援の時に、地域の皆様がたくさんご支援物資を集めて下さり、実に多くの方々の善意が寄せられ、感激いたしました。会場には、大変失礼いたしました。もっと広いホールでも考えましたが、このように、絶え間ない努力をしておられる菊池自治連合会長を始め、各自治会役員の方々に、心からお礼を申し上げます。

私は、主に京阪神のホテルや結婚式場でキリスト教挙式の司式と、聖書に基づく結婚セミナーをしており、ヨアンナは、土曜日、朝八時半、KBS京都で放映中の「ハーベストタイム」の司会をしております。日頃より少しでも国際理解のかけ橋になることを望んでおります。ぜひ、お気軽に声をかけてお友達になつて下さい。



三時間半バスに揺られて降りたところは、久美浜の箱石海岸。

現地の人から説明を受け、両手両足、砂が入らないようにガムテープで止め、いざ砂浜へ、と五〇数名が歩き出しました。大きい長靴で歩く砂地は想像以上に辛いものでした。怒りを顔にしている荒波がドーンと音をたてて打ち寄せる不気味な冬の海を背に、多勢の人たちが一匙、一匙、心を込めて掬っては、ふるいにかけた砂山がいくつも並んでいました。

二〇〇メートル程歩いた場所が私たちの回収地点、主人に教わりながら作業を開始。――表面は小さい塊がポツポツとあるだけでしたが、グイッとスコップを入れてふるいにかけると、そこにはアメーバーのような物がどっさり残り、三分もすると土裏が満杯になるほどでした。無口に作業を行っていた人たちが、大きい塊があると「見てください」とか「あつた」とか、「まるで金塊捜しのようなや」と誰かが笑っていつておりました。

お昼に休憩場所に戻り、食後はまた、二〇〇メートル先の砂浜での作業――。この時には主人に手を持ってもらわないと歩けない状態、六〇kgに限りなく近い体重を恨みながら歩きました。

午後は吹雪の中の作業となり、篩でふるう砂も雪で重くなって疲労も増し、主人のメガネがマスクからの息と降る雪で使用不可能と

なつた頃、中止命令が出ました。それでも皆んな立ち上がることなく、黙々と手を動かしていたのですが、地元の人判断は正しかつたようです。あつという間に凄まじい吹雪――。後ろ髪を引かれる思いで帰りのバスに乗り込みました。

私の願いが通じたのか、もう一度丹後に行ける機会

# 日本海に立ち

## 重油回収記

編集委員 佐川早苗

を得ました。

二度目の私は先輩気取りで若い人たちにバスの中で説明をし、不安げな人には「美しい海になるんだから楽しく、そして無理をしないようにすれば、私みたいなおばさんでも大丈夫よ」と励まし――と、この週末は元気がだった私ですが、砂浜に着いた途端、「おばさんはいいから、先に行つて」と、ヨタヨタ付いて行くのがやっと。それでも

自分を慰め、「頑張れこんなもん、どおつてことないわ」とブツブツいいながら青息吐息。この日は前日漂着したところでの作業で、岩肌にくっつき付着した油を削り取ったり、真っ黒になった海藻を拾ったり、水筒のようになった重油を掬って歩くので、すぐに手袋も長靴も汚れました。海の魚も貝もいつも通り泳いでいてくれるのだから、海鳥たちのエサはたっぷりあるのか、海の青さが砂を元氣付けてくれるのだからかなど考えながら一歩二歩と進みました。「春になり、暖かくなると油も解け出し、もっと取りにくくなります、その前に回収しなければなりません」との説明に皆んな時間いっぱい頑張りました。しかし黒い砂浜に別れを告げる時が来てしまいました。まだまだ納得のいかない状態で……。

私は数日前に届いた、ある会報に書かれていた一節を思い出しながら、思いま

「報いを求めない奉仕は人を幸福にするだけでなく私たち自身をも幸福にする」(M・ガンジー)――その一日の友と力を合わせた幸福に感謝しよう、最後のパーキングエリアで若い人と写したブリクラ四枚に感謝しよう、と。

去る二月九日(日)、少年補導委員会主催の「桂坂ふれあいポイントラリー」が開催されました。

晴天に恵まれ、春を感じる日差しの中、友達、家族一人ぼっち、など様々なグループで、八〇名ちかくの方々に参加していただきま

### 楽しかった桂坂クエスト

桂坂少年補導委員 稲垣



今回は、学生班の方の全面的な協力を得ることができ、色々な工夫を凝らしたポイントラリーを企画することができました。きつと小さなお子さんから大人の方まで、ゲーム感覚で楽しんでいただけたのではない

かいた豚汁をめし上がっていただき、楽しい一時を過ごしていただけたことと思います。また、来年度も、楽しい行事を企画しております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

### 文化

洛西ふれあいの里 保養研修センター

#### 一日俳句教室

日時 四月二十七日(土)

TEL: 060-414-600

講師 岩城久治先生  
読売新聞・京都新聞等の選者

対象 市民の方、どなたでも。初心者のかたもご参加ください。

定員 二十五名(申込先着順)

受講料 三〇〇〇円。含む昼食代  
筆記用具・歳時記・ノート・雨具 動きやすい服装でお越しください。



#### 第十二回

「日文研」公開セミナー

「日本の風物」

日時 四月十九日(土)

場所 「日文研」ホール

TEL: 06-6316-300

講演 広瀬量平 高市華文会会長

独唱・重唱

松室華子氏(ソプラノ)

白川麻衣子氏(メゾソプラノ)

北村敏則氏(テノール)

蔵田裕行氏(バリトン)

ピアノ伴奏

山上友佳子氏

司会 上垣外憲一 豊後警察

受講料 九四〇円(定員 50名)

申込法 はがき・または電話で。

「日文研」庶務課

御陵大枝山町3-2

TEL: 06-621-0206

FAX: 06-621-0201

#### お詫びと訂正

「桂坂」3号の「日文研学術講演会」の案内の中で、三月の「二十二日」開催を「十四日」と誤記しました。事後の訂正さまになりませんが、ご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

#### 押し花作口展

ふしぎな花俱樂部 岩本 年子

ぜひ一度足を運んでいただき、ご批評いただければ幸いです。

桂坂野鳥園

花の木ラウンジ

【土・日曜開園】

三、四月の催し

押し花作品展

ふしぎな花俱樂部

寒い冬も終わり、ようやく春を感じる三月、四月の二ヶ月間、桂坂野鳥園において、押花額の作品展をさせていただきますことになりました。

この散歩の途中で四季折々の草花をみつけたり、園芸店で見つけた可愛い花の種類や苗を自分で育てたり、また、記念にいただいた花などをいつまでも残しておきたくて押花にして楽しんでいきます。

カードや額に仕上げて部屋にかけたり、友達や知人宅訪問の時の手土産やお祝物として贈り、喜んでもらっています。

一人でも多くの仲間が増えることを願って、四月末まで展示してまいりますので、